

Thursday

11/23

◀いざ、競技開始！

記憶力と瞬発力の真剣勝負！

第23回多久市論語カルタ大会

毎年熱戦が繰り広げられる「多久市論語カルタ大会」が、多久市教育委員会と公益財団法人孔子の里主催で行われました。

多久市では馴染み深い論語を市内外により知ってもらうために行われている本大会。会場の西溪校西体育館に115人が参加し、手に汗握る接戦が繰り広げられました。

大会当日まで友人たちと練習してきたという小学生は「下の句を憶えているのに、緊張で手が出せなかったことが悔しい」と本番の緊迫感を振り返っていました。

各部門優勝者は次のとおりです。(敬称略)

幼稚園・保育園の部

小学1年生の部

小学2年生の部

小学3年生の部

小学4年生の部

小学5年生の部

小学6年生の部

中学生の部

高校・一般の部

吉田淳一郎 (こばと保育園)
山田麻衣 (東部校)
北島拓実 (東部校)
徳重ひろは (東部校)
広橋華恵 (東部校)
田代たしろ (東部校)
すずき美空 (西溪校)
つぎみ彩花 (西溪校)
堤ひとき 瞳

ココを
スキャン！ARで動画を
配信

▲一瞬を競う子どもたち



Friday-Sunday
10/20~
11/26

きっとあなたの家の近くにも

心洗われる「野の仏」展

多久市教育委員会主催の特別企画展「野の仏」展を開催。

多久市郷土資料館に28体の石仏を展示しました。

企画展は、多久市内の石製如来像・菩薩像465体を調査した成果を公開するためのもので、今回は東多久町と南多久町にある、江戸中期から昭和初期に制作された石仏を展示しました。学芸員は「一般的に観音像などは寺社で祀られることが多く、今回のように屋外に置かれることは珍しい。砥川（現在の小城市牛津町）には、江戸時代から多久領主に仕えた石工が多かったため、石製の神仏像が多いのでしょう」と話しました。来館者は、慈悲深い表情の仏像を丁寧にしながら学芸員の話に耳を傾けていました。



▲勢至菩薩坐像



▲解説に聞き入る来場者

みんなで築こう人権の世紀

多久市人権フェスタ2017開催

Saturday

11/25



▲「多久の歌」でおなじみの池田隆臣さんも登場！



▲午後の部での物販販売の様子



▲表彰を受ける児童生徒

人権週間にあわせ、人権フェスタ（主催：多久市教育委員会）を開催しました。

今年は初の2部構成で、午前の部では、人権標語・人権ポスターの表彰式や福永宅司さんによる講演と一人芝居が行われました。福永さんの熱演に会場は笑いと感動で包まれ、参加者からは「親が変われば子どもの人生が変わると身にしみた」「良い話、良い芝居で感動が多かった」と感想が寄せられました。午後はあいぱれっとで、ライブ演奏やフードコート、物品販売などが催され、多くの人で賑わいました。